

令和元(2019)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	細胞膜・膜脂質環境動態と共役した受容体機能制御の包括的理解
研究代表者	佐甲 靖志 (理化学研究所・開拓研究本部・主任研究員) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>本研究は、ヒトの主要な膜受容体である GPCR (G タンパク質共役受容体) (300 種類)や、RTK (チロシンリン酸化酵素型受容体) (60 種類)のほぼすべての分子種について、受容体近傍の膜脂質との相互作用による会合動態、拡散、機能制御を明らかにするものである。</p> <p>国際的にも評価されてきた応募者の膜受容体に関する研究成果に裏付けされた独自の視点と、自ら開発した網羅的単一分子計測技術や脂質認識タンパク質プローブ及びナノディスク再構成技術を駆使して脂質組成と膜受容体の構造・機能ダイナミクスの分子メカニズムに迫ることで、ユニークかつ優れた成果が期待できる。</p>